

# 地域のランドマークとして魅力ある 県立新庄病院に!

## 医療機能強化 ⊕ 快適性向上 ⊕ 情報発信機能 等



### 休日夜間診療所

診療所自体は「市立」のため設置するかどうかは県の所管ではないことを前提としたうえで、病院に併設されることで病院の救急外来の医師や休日夜間診療所に対応する開業医の負担を減らすことにつながります。前号でお伝えしたように、救急外来の「コンビニ受診」が減っており、病院医師の負担が増えています。また、緊急性のある時には病院への搬送が容易になります。



### 周辺の交通対策

- ・近隣道路の混雑対策
- ・アンダーパスの設置
- ・東北中央道北インターからのアクセス確保

### 建て替え

### アメニティ



### 患者用図書室

- ・単に本を並べた図書コーナーではなく、専用の司書を配置し適切な読書環境を整え、情報を発信する機能をもたせます。
- ・患者が自分の病気や治療方法について情報を得て理解を深め、医療従事者と共に治療に取り組むことができます。
- ・読書や読み聞かせ等を通し入院中の癒しを得る空間となります。
- ・子育て支援や子供たちの受診時にも活用できます。

### 子育て支援機能

## 整備計画 具体化へ

全面移転改築の方向性が決まっている新庄市の県立新庄病院について、県病院事業局は本年度、整備スケジュールや病床規模などを明確化する改築整備基本計画を策定する。9月には県や関係者らで構成する専門委員会を立ち上げ、県が作る案をたたき台に新病院の方向性について具体的に検討する。

### 県立新庄病院の全面移転改築



県立新庄病院の改築に向け、本年度は具体的な整備スケジュールや病床規模などを検討する。＝新庄市

同局は昨年度、基本計画や新病院の役割を決め、備え付けのスケジュールを定め、画の前段となる基本構想。開院時期を含めた整理事業取組シナリオの方を示した。構想の中で、全面移転改築や、地域救命救急センターを設置することを決めた。移転先は最上地域の首長の意見を踏まえ、新庄市金沢の国道13号沿いの新庄富士通セナール工場跡地に決定。病床数は県地域医療構想と調整を図り、300～340床程度としている。

### 医師公舎の整備

医療はそれ自体が社会から独立して機能するものではなく、介護はもとより、まちづくり、生活の万般と有機的に連動する。また、医療が医療従事者だけで完結する時代は終わりを告げ、患者や住民との協働が不可欠な時代に入った。

(厚生労働省 新たな医療の在り方を踏まえた医師・看護師等の働き方ビジョン検討会 報告書より引用)

### 機能強化



### 駐車場の確保

#### 県議会 予算特別委

山科朝則委員 (無所属)  
 ▼医療先進都市・米田口チエスタ市の視察を踏まえた県立新庄病院の移転改築の方向性と、新病院への図書機能整備の考えは、昨年まとまった農業競争力強化プログラムで農林大学校の専門職大学化を推進する方針が示されたが、農林水産省は都道府県が必要となる場合、移行後明らかになる設置基準とも一致する設置基準を財源確保を踏まえる必要があり、情報収集に努める。

▼学校教育法の改正で専門職大学が創設される。県立農林大学が目指す方向ではないか。  
 白田洋一 農林水産部長  
 昨年まとまった農業競争力強化プログラムで農林大学校の専門職大学化を推進する方針が示されたが、農林水産省は都道府県が必要となる場合、移行後明らかになる設置基準とも一致する設置基準を財源確保を踏まえる必要があり、情報収集に努める。

(平成29年6月30日/山形新聞)

## 9月、専門家会議立ち上げ

同局によれば、院内の検討会が出された意見などを踏まえ、県基本計画の案を作り、9月に専門委員会初会合で案について意見を交わす。来年1月に2回目の会議を開き、計画の方向性を決める。2月に県議会に報告し、パブリックコメントを実施した後、3月に正式に計画を策定する方向で調整を進める。

患者用図書室の設置も検討に入る。最上地域で読書活動の推進に取り組む住民有志が吉村美栄子知事に、司書を配置した情報拠点となる図書室の整備を要望。同局は患者が読書を楽しめる環境整備の必要性を考慮し、基本計画で図書室整備を前向きに考えていくとしている。

(平成29年7月31日/山形新聞)

### 開業医と病院の連携

- ・病院勤務医の確保が難しい中で、開業医の医師が病院勤務を部分的に行うことで医療人材の確保ができます。
- ・開業医が患者を紹介するだけでなく病院での手術や治療に積極的に関わるシステム(オープンシステムまたはセミオープンシステム)の導入で一貫した治療ができます。



地域の皆さんと患者用図書室の設置と司書配置について知事に要望

病院建設は決定しました。しかし、私たちが望むような病院にするには、これからいかに要望し反映させていくかが大切です。



### 保健所の併設

- ・コンパクトな地域の特性を活かした「最上モデル」として保健所が中心となり病院と連携した取り組みの強化を図ります。
- ・最上地域では死因第3位までの病気(がん、心疾患、脳血管疾患)による死亡率が県平均、全国平均より高いことから、疾病予防にかかわる情報発信や啓もう活動をより一層実施することが必要です。(※女性の胃がんの死亡率は最上地域が全国1位です。)



※保健所は疾病の予防や健康増進など地域住民の保健指導を行う公的機関